

平成29年第1回定例会（2月議会） 産業観光分科会・委員会 提出資料

平成29年2月16日
観光文化スポーツ部

【当初予算関連】

観光戦略課	平成29年度観光文化スポーツ部の主な施策について・・・	1
	地域観光施策推進事業について	・・・ 2
	観光宿泊施設等の改修支援等について	・・・ 5
	新たな観光客開拓推進事業について	・・・ 7
あきたびじょん室	あきたびじょんブランド化推進事業について	・・・ 8
観光振興課	海外観光交流推進事業について	・・・ 10
	秋田の観光宣伝力強化事業について	・・・ 11
	秋田のインバウンド誘客促進事業について	・・・ 13
秋田うまいもの販売課	アンテナショップ運営事業について	・・・ 18
	県産品販路拡大対策事業について	・・・ 19
	高品質販路開拓事業について	・・・ 21
	大消費地販路開拓事業について	・・・ 23
	クールアキタ食の輸出拡大支援事業について	・・・ 25
	総合食品研究センター施設・設備整備費について	・・・ 27
交通政策課	広域交通ネットワーク維持・誘客促進事業について	・・・ 28
	奥羽・羽越新幹線整備促進事業について	・・・ 30
	バス関連予算について	・・・ 31
	秋田内陸縦貫鉄道関連予算について	・・・ 34
	由利高原鉄道関連予算について	・・・ 35
	秋田犬の里魅力アップ促進事業について	・・・ 36

文 化 振 興 課	文化による地域の元気創出事業について	・ ・ ・ 3 7
	県・市連携文化施設整備事業について	・ ・ ・ 4 1
	県・市連携文化施設基本設計業務の公募について	・ ・ ・ 4 2
ス ポ ー ツ 振 興 課	スポーツ王国創成事業について	・ ・ ・ 4 4
	県有体育施設整備・改修事業について	・ ・ ・ 4 6
	2020プロジェクト推進事業について	・ ・ ・ 4 8
	第44回東北総合体育大会開催事業について	・ ・ ・ 4 9
 【議案（条例）関連】		
秋田うまいもの販売課	秋田県総合食品研究センター条例の一部を改正する 条例案について	・ ・ ・ 5 2

平成29年度 観光文化スポーツ部の主な施策 ～ 交流人口の拡大に向けた、横断的な取組の展開 ～

国内外からの誘客拡大

【文化とスポーツによる交流人口拡大】

- ◆ **文化による地域の元気創出**
 - ・「新・秋田の行事」の開催や舞踊・舞踏家による公演等の実施
 - ・2020 東京オリンピック・パラリンピック大会の文化プログラムを見据え、補助事業を拡充
- ◆ **東北総合体育大会の開催**
 - ・第44回大会を本県で開催
主会期：8月18日～20日
参加者：37競技に約6千人参加



【観光誘客】

- ◆ **地域資源を生かした誘客の強化**
 - ・JR東日本と連携した春の大型観光キャンペーンにより、雪解けから新緑に至る秋田の魅力を首都圏等へ発信
 - ・「秋田犬」をカラーコンテンツとしたプロモーションを、首都圏主要駅等で通年展開
 - ・「秋田の観光創生推進会議」を母体に、官民一体となった観光PRや受入態勢整備を実施
- ◆ **秋田の魅力発信による秋田ファンの拡大**
 - ・音楽大使等を活用し、様々な媒体で本県の魅力を発信
 - ・NHK連続テレビドラマ誘致を目指した活動を展開



受入環境の整備

【旅の満足度の向上】

- ◆ **「やさしさ日本一」の受入環境整備**
 - ・秋田県観光連盟の機能を強化し、バリアフリー観光等を推進
 - ・ホテルや旅館の魅力向上を支援
- ◆ **秋田ならではの受入態勢の充実**
 - ・秋田犬の里としての態勢整備に向け、県内空港や三セク鉄道等の利便性や魅力の向上を支援
 - ・コンベンションによる誘客や、スマートフォンゲームを活用した誘客を図る取組を支援



【スポーツによるインバウンド】

- ◆ **2020プロジェクトの推進**
 - ・オリンピック・パラリンピックなどの事前合宿誘致を、市町村との連携により、引き続き推進
- タイ：バドミントン（美郷町）
車いす卓球ほか（大館市）
カヌー（仙北市）
- フィジー：ラグビー（秋田市）
- インドネシア：バドミントン（横手市）



【インバウンドの推進】

- ◆ **重点市場【台湾、韓国、タイ、中国】からの誘客拡大**
 - ・チャーター便の運航や秋田泊旅行商品の造成を支援
 - ・現地の人気俳優やテレビ番組を活用したプロモーションと、WEBやSNSを活用した情報発信を実施
- ◆ **「セカンドデスティネーション」戦略への取組**
 - ・東京・京都・北海道等の空港ターミナルや駅において、本県への誘客プロモーションを実施
- ◆ **広域連携によるインバウンドへの取組**
 - ・東北各県と連携し、海外の航空会社との商談会などを実施



【外国人の受入環境の整備】

- ◆ **インバウンド対応力の向上（2月補正）**
 - ・宿泊施設や観光案内所で使用するコミュニケーションツールや、体験型コンテンツのエージェント向けセールシートを作成
- ◆ **受入態勢の拡充**
 - ・バスやタクシーによる二次アクセス整備を促進
 - ・外国人旅行者向けの多言語対応アプリの充実



交流人口拡大の基盤となる取組

【県産食品の販路拡大】

- ◆ **商品力強化と販路開拓への支援**
 - ・民間事業者と連携した魅力ある商品づくり
 - ・関西や九州への売り込みを強化
- ◆ **輸出の促進**
 - ・パリ市場でブランド化を図りながら、台湾やアセアンへの売り込みを拡充



【広域交通と地域公共交通の維持・拡充】

- ◆ **奥羽・羽越両新幹線の整備促進**
 - ・市町村及び関係団体と一体となり、シンポジウムや要望活動等を実施
- ◆ **地域公共交通網の確保**
 - ・バスや三セク鉄道を引き続き支援しながら、観光利用等を促進



【秋田の文化力の更なる向上】

- ◆ **文化の継承と創造**
 - ・音楽コンクール等の開催やあきた文化交流発信センターの運営により、文化活動を活発化
- ◆ **県・市連携文化施設の整備**
 - ・利用者代表等の意見を反映させながら、施設の実施



【スポーツ立県あきたの推進】

- ◆ **スポーツ王国の創成**
 - ・競技団体が実施する選手強化策を支援
 - ・高等学校強化拠点校への助成などによる、ジュニアアスリート強化
- ◆ **県有体育施設の整備**
 - ・こまちスタジアムの大規模改修など



地域観光施策推進事業について

観光戦略課

1 目 的

「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」における重点戦略を推進するため、観光文化スポーツ部と地域振興局が役割分担を行い、緊密な調整・連携や、情報共有を図りながら、地域振興局において、地域に密着した観光施策・事業を実施することにより、地域の観光振興を推進する。

2 概 要

魅力ある観光地づくりの促進、県内流動や近隣県等との交流の活性化、秋田県市町村未来づくり協働プログラムの推進等に関する事業を重点的に実施することとしており、事業内容は、以下のとおりとなっている。

(単位：千円)

	事業名	事業概要	予算額
鹿角	鹿角広域観光推進会議事業	桜と雪の回廊キャンペーン、紅葉と温泉キャンペーン、十和田湖Wi-Fiスポット周知、北海道教育旅行誘致、外国人留学生生活用施設評価等	4,618
	売り出せ!鹿角のんめモノ・良いトコロ事業	秋田市・弘前市における食品販売会	484
鹿角地域振興局 計			5,102
北秋田	DMO組織「秋田犬ツーリズム」と連携した誘客の強化	秋田犬の里魅力発信モニターツアー、外国人旅行者受入態勢整備(受入研修会等)等	799
	森吉山を中心とした観光誘客	仙台圏山ガール森吉山トレッキングツアー、滞留型観光推進、二次アクセス運営協議会等	994
	大館・北秋田地域の観光情報の発信	旅行エージェント等訪問、観光PR・物産販売、上小阿仁村食農観丸ごと推進協議会、北鹿地域“ゆぎっこ巡り”スタンプラリー	1,511
	田んぼアート等による内陸線利活用促進事業	内陸線沿線での田んぼアート景観づくり	1,112
北秋田地域振興局 計			4,416
山本	五能線沿線観光推進事業	リゾートしらかみ20周年記念事業、ブナの学校運営協議会による首都圏でのプロモーション、観光素材PR写真撮影等	2,686
	白神山地着地観光の推進と受入態勢強化事業	白神7サミットタクシーツアー、登山・トレッキング商品、サイクリング誘客等	1,716
山本地域振興局 計			4,402

(単位：千円)

	事業名	事業概要	予算額
秋田	男鹿半島の周遊観光の促進	まるごとスタンプラリー、ジオパークツアー、レンタカー商品の造成、近隣県イベントでの情報の発信	2,195
	秋田駅での県外客等をターゲットとした再訪の促進	秋田の地酒のふるまい、チャレンジマルシェ、秋田駅を中心としたガイドマップ作成	1,063
秋田地域振興局 計			3,258
由利	広域観光と未来づくり協働プロジェクト推進事業	由利地域観光推進機構による誘客、未来づくり協働プログラム推進事業支援	1,631
	環鳥海地域の広域観光推進事業	まるっと鳥海活性化推進(ジオパークと連携した情報発信、県際間協働プロモーション(庄内・由利連携事業))	1,555
	観光事業者のビジネス展開支援強化事業	大型観光キャンペーンにおける物販等イベント開催支援、酒と地域の観光素材を融合した魅力創出	882
由利地域振興局 計			4,068
仙北	管内協働魅力づくり支援事業	県南冬まつりスタンプラリー、岩手県雫石地域との連携、ワールドカップモーグル大会支援、物産展開催支援、チャレンジマルシェ、大曲の花火物産展等	1,536
	インバウンド推進事業	インバウンドサイクリングコース活用支援、英語版エリアマップ作成	120
仙北地域振興局 計			1,656
平鹿	農産品類販路拡大支援事業	首都圏商談会、交流物産展等	1,962
	機能合体による広域観光推進事業	県南観光地を結ぶ周遊バスの運行支援、秋田・岩手県際交流事業、観光PR・情報発信	1,220
	まんが原画と増田のまちなみ等情報発信事業	増田の歴史的まちなみやまんが美術館所蔵作品PR	214
平鹿地域振興局 計			3,396
雄勝	市町村との協働による誘客促進と交流人口の拡大	情報発信、広域観光物産キャンペーン、観光資源のブラッシュアップ、旅行エージェント訪問、観光リーフレットの作成	2,900
	県際・県南地域振興局連携等による売り込み強化	山形県最上地域、宮城県大崎地域との連携、県南3地域振興局連携物産展	1,373
雄勝地域振興局 計			4,273
地域振興局 合計			30,571

3 予算額

30,571千円

内 訳	・ 報償費	603千円
	・ 旅費	2,870千円
	・ 需用費	3,493千円
	・ 役務費	850千円
	・ 委託料	4,796千円
	・ 使用料及び賃借料	1,420千円
	・ 負担金補助及び交付金	16,539千円

※ 地域振興局予算のうち、観光文化スポーツ部の施策にかかる事業費を観光戦略課に計上し、その他の施策にかかる事業費（45,429千円）は、地域活力創造課に計上されている。

観光宿泊施設等の改修支援等について

観光戦略課

1 民間観光宿泊施設魅力向上支援事業

(1) 目的

旅行者の多様なニーズや旅行形態の変化に対応した民間事業者の施設改修等を支援することにより、新たな顧客の獲得と観光地としての満足度の向上を促し、本県への国内外からの誘客拡大を図る。

(2) 概要

① 対象となる事業

- ア 高齢者、障がい者及びペット連れ旅行者の利便性及び満足度の向上を図るもの
- イ 外国人旅行者の利便性及び満足度の向上を図るもの
- ウ その他、旅行者の多様なニーズや旅行形態の変化に対応し、新たな顧客の獲得を図るもの

② 補助対象者

秋田県内において宿泊施設を所有又は経営する民間事業者等

③ 選考方法

企画案を公募し、専門家等による審査で補助事業者を選考

④ 採択件数・補助率

- ・採択件数 7件程度
- ・補助率 補助対象事業費の1/2以内（補助金上限額500万円）

(3) 予算額

35,764千円

内 訳	・ 報償費	160千円
	・ 旅 費	351千円
	・ 需用費	132千円
	・ 役務費	21千円
	・ 使用料及び賃借料	100千円
	・ 負担金補助及び交付金	35,000千円

2 観光施設魅力向上事業

(1) 目的

県有観光施設の改修等を行うことにより、利用者の安全・安心の確保と満足度の向上等を図り、交流人口の拡大や県内観光流動を促進する。

(2) 概要

- | | |
|---|----------|
| ① 観光施設等緊急改修事業 | 89,463千円 |
| ア 田沢湖スキー場 | 30,564千円 |
| 銀嶺クワッド他4カ所のリフトの索受装置の摩耗が顕著であることから、改修を実施する。 | |
| イ フォレスタ鳥海 | 25,280千円 |
| 自動火災報知設備に不具合が生じていることから、改修を実施する。 | |
| ウ 秋の宮山荘 | 33,619千円 |
| 自動火災報知設備及び冷温水発生機に不具合が生じていることから、改修を実施する。 | |
| ② 地域と協力した秋田ふるさと村魅力発信事業 | 1,596千円 |
| 秋田ふるさと村において、各地域と協力した文化や芸能等の多様な魅力を発信する事業を実施する。 | |
| ・委託予定先 (株)秋田ふるさと村 | |

(3) 予算額

- | | |
|------------------------|----------|
| ① 観光施設等緊急改修事業 | 89,463千円 |
| 内 訳 | |
| ・委託料 | 33,319千円 |
| ・工事請負費 | 56,144千円 |
| ② 地域と協力した秋田ふるさと村魅力発信事業 | 1,596千円 |
| | (委託料) |

新たな観光客開拓推進事業について

観光戦略課

1 目的

将来に向けた旅行需要の拡大を図るため、新たなツールや手段を活用し、新たなターゲットを開拓する誘客プロジェクトを推進する。

2 概要

(1) コンベンションによる観光振興促進事業 5, 213千円

県内で開催されるコンベンションの経済波及効果を高めるため、コンベンション主催者が実施するエクスカージョンなどを支援する。

① エクスカージョン支援

一定規模以上のコンベンションに併せて実施されるエクスカージョンに対し、バスの借り上げ費用の一部を補助する。

- ・対象経費 県内バス事業者が運行するバスの借り上げ費用
- ・補助率 定額（上限5万円／台）

② 歓迎プログラム支援

一定規模以上のコンベンションにおいて、本県の文化を発信する費用の一部を補助する。

- ・対象経費 県内の芸術文化団体等を活用した歓迎プログラム実施費用
- ・補助率 定額（上限10万円）

(2) 「ゲーム×自治体」観光誘客推進事業 2, 000千円

新たな切り口からの観光誘客を図るため、位置情報と連動したスマートフォン向けゲーム等を活用した観光誘客に取り組む。

- ・採択件数 2件程度（企画提案による公募）

3 予算額 7, 213千円

(1) コンベンションによる観光振興促進事業 5, 213千円

内 訳	・旅 費	113千円
	・需用費	100千円
	・負担金補助及び交付金	5,000千円

(2) 「ゲーム×自治体」観光誘客推進事業 2, 000千円

内 訳	・旅 費	47千円
	・委託料	1,953千円

あきたびじょんブランド化推進事業について

あきたびじょん室

1 目的

「あきたびじょん」で表現した秋田の統一したイメージ（高質な田舎）に基づき、様々な媒体により秋田の魅力をアピールし、秋田ファンの拡大を図るとともに、新たな地域コンテンツを活用した今までにない秋田の楽しみ方などを提案することにより、新しい人の動きや流れを創出する。

2 概要

(1) 各種PRの総合プロデュース 9,793千円

統一感のあるイメージで秋田の魅力を発信するため、各種PR事業に対し、専門家の指導・助言等を得るとともに、各種媒体などに合わせてインパクトあるデザインを制作する。

(2) ソーシャルメディアによる情報の交流 1,190千円

魅力的なクオリティの高い画像素材を収集し、Facebook、Instagram等のソーシャルメディアを活用して、ロコミ的な秋田の旬の情報や魅力を発信し、情報交流を拡大する。

(3) 県ゆかりの人とのネットワークの活用 24,152千円

県が委嘱している「あきた美の国大使」など秋田ゆかりの人材を活用して、秋田の良さを再認識できるような情報番組や映像等を制作するほか、大使等に県のイベントなどに参加してもらい秋田の魅力を発信する。また、「あきた音楽大使」の高橋優が県内を巡って秋田を紹介するガイドブックを制作し、誘客促進を図る。

(4) WEBマガジンの制作・運用 28,580千円

WEBマガジンを制作し、足元にある優れたコンテンツの魅力や楽しみ方を発信するとともに、読者交流会を開催し、読者ファン同士の情報交流や二次的な情報発信を誘発することにより、新しい人の流れを創出する。

3 予算額 63,715千円

(1) 各種PRの総合プロデュース 9,793千円

内 訳	・報償費	3,100千円
	・旅 費	2,545千円
	・需用費	950千円
	・役務費	324千円
	・委託料	1,824千円
	・使用料及び賃借料	1,050千円

(2) ソーシャルメディアによる情報の交流 1,190千円

内 訳	・報償費	150千円
	・需用費	50千円
	・役務費	990千円

(3) 県ゆかりの人とのネットワークの活用 24,152千円

内 訳	・報償費	248千円
	・旅 費	1,992千円
	・役務費	612千円
	・委託料	21,300千円

(4) WEBマガジンの制作・運用 28,580千円

内 訳	・旅 費	188千円
	・委託料	28,392千円

海外観光交流推進事業について

観光振興課

1 目的

秋田ソウル国際定期便の早期再開と国際チャーター便の誘致・利用拡大を図るため、市町村や民間企業・団体等と連携しながら航空会社等への働きかけを行うとともに、海外現地コーディネーターを活用しながら、秋田への旅行商品の造成拡大等を図る。

2 概要

(1) 秋田発国際線利用促進事業 76,450千円

① 国際交流の推進

秋田発の国際チャーター便等を利用する修学旅行及び民間交流等に対する支援を行う。

- ・一般枠：20団体
- ・修学旅行枠：5団体

② 秋田発国際チャーター便の運航支援

秋田発国際チャーター便を運航する旅行会社等に対して支援を行う。

③ 秋田空港利用促進協議会特別負担金

官民一体で組織する「秋田空港利用促進協議会」と連携しながら、秋田空港発着の国際便を利用する旅行商品の造成等に対する支援を行う。

④ 航空会社への支援

秋田ソウル国際定期便の運航再開に向けて、航空会社の負担軽減を図るため、ターミナルビル使用料等を支援する。

(2) 現地コーディネーター設置事業 9,605千円

現地コーディネーターを活用して、海外の航空会社や旅行エージェント等からの情報収集を行うとともに、秋田への旅行商品造成の拡大等を図る。

- ・設置場所：韓国（ソウル）、台湾（台北）、中国（上海）

3 予算額 86,055千円

(1) 秋田発国際線利用促進事業 76,450千円 (負担金補助及び交付金)

(2) 現地コーディネーター設置事業 9,605千円 (委託料)

秋田の観光宣伝力強化事業について

観光振興課

1 目的

首都圏や隣県等からの更なる誘客を図るため「秋田犬」をキラーコンテンツに年間を通じた観光キャンペーンを展開するとともに、地域や民間の取組と連携しながら、テーマやターゲット等を絞り込んだ誘客プロモーションを推進する。

2 概要

(1) 「秋田犬の里」集中プロモーション事業（地方創生推進交付金）

90,640千円

① 首都圏通年キャンペーン事業

- ・ JR等の主要駅における広告宣伝等の実施
実施時期及びテーマ（予定）

5月～7月：JR東日本重点販売地域指定（4月～6月）に伴う春の大型観光キャンペーンPR及び夏祭り等

9月～1月：紅葉及び小正月行事等

< JR東日本の重点販売地域指定 >

JR東日本と地元自治体等が共同で実施する観光キャンペーン。JR東日本の広告媒体の活用や旅行商品造成など、集中的な観光プロモーションを実施する。

本県では、平成26年10月～12月（アフターDC）以来の実施となる。

② 大規模イベント等活用観光PR事業

- ・ 「ツーリズムEXPOジャパン」への出展

実施場所：東京ビッグサイト

実施時期：9月

- ・ 「ふるさと祭り東京」への出展

実施場所：東京ドーム

実施時期：1月（予定）

- ・ 「あきた産直市」における観光PR

実施場所：JR大宮駅、上野駅

実施時期：大宮駅（5月、12月）、上野駅（9月）

③ 隣県からの誘客促進強化事業

- ・ ショッピングモール等での観光PRイベント、新聞広告の実施等

実施場所：弘前市、盛岡市、仙台市、山形県庄内地方

実施時期：通年

(2) 「秋田の観光創生推進会議」負担金

25,000千円

官民が一体となって、テーマ別の観光コンテンツの発掘・磨き上げを行うとともに、交通事業者等とのタイアップによるプロモーション事業を実施する。

○事業展開（案）

ア アキタノ魅力発信強化事業

- ・ 首都圏等PR事業（首都圏や函館市等における観光PRイベント等）

- ・交通事業者等タイアップ情報発信（共同キャンペーン等）
- ・道路関係媒体活用宣伝広告（ポスター掲出、情報誌広告掲載等）
- ・旅行会社タイアップ旅行商品造成・販売促進（商品造成・広告支援等）
- ・各種メディア活用情報発信（旅行雑誌、業界紙等）
- イ 国際観光誘客推進事業
 - ・インバウンド誘客の推進（海外の旅行ポータルサイトへの広告掲出等）
- ウ 観光力アップ推進事業
 - ・地域観光力の醸成（おもてなし研修等）
 - ・地域間連携等強化（DMO研修等）
- エ 受入態勢整備事業
 - ・歓迎ムード醸成（駅・空港の装飾等）
 - ・秋田おもてなし運動の展開（アキタノおもてなしスタンプラリー等）

<秋田の観光創生推進会議>

設立：平成27年4月24日

会員：98団体（県、市町村、観光関係団体、経済団体、マスコミ等）

事業期間：平成27年度～29年度

事業費：50,000千円/年間

※負担割合：県1/2、市町村1/4、各種団体・民間1/4

特記：JR東日本の重点販売地域指定に連動した春の大型観光キャンペーンでは、首都圏等での観光PRや秋田おもてなし運動等において、本会議の取組と連携し、県を挙げた取組としての相乗効果を図る。

(3) 教育旅行誘致事業 1,121千円

北海道や首都圏において、東北観光推進機構等が主催する教育旅行誘致セミナーに参加するとともに、地域や民間と連携して学校や旅行会社等を訪問する。

3 予算額 116,761千円

(1) 「秋田犬の里」集中プロモーション事業 90,640千円

内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費 1,288千円 ・需用費 543千円 ・役務費 534千円 ・委託料 88,275千円
-----	--

(2) 「秋田の観光創生推進会議」負担金 25,000千円
(負担金補助及び交付金)

(3) 教育旅行誘致事業 1,121千円

内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・旅費 434千円 ・需用費 116千円 ・役務費 6千円 ・委託料 555千円 ・使用料及び賃借料 10千円
-----	--

秋田のインバウンド誘客促進事業について
(東北観光復興対策交付金)

観光振興課

1 目的

訪日外国人旅行者の更なる誘客を図るため、市町村等との連携による受入環境の総合的な整備を進めるとともに、台湾やタイ、韓国等を対象にした大規模な誘客プロモーションを展開するほか、東北各県との広域連携による取組を強化する。

2 概要

(1) 訪日外国人受入環境整備事業 6, 270千円

① 二次アクセス整備促進事業

県内各地における二次アクセスの整備に向けた取組を支援する。

- ・実施内容：地域における検討会議等へのアドバイザーの派遣
取組状況の情報交換のための連絡会議や研修会の開催

② 外国人旅行者向けアプリケーション整備事業

外国人旅行者向けの多言語対応アプリの内容を充実する。

- ・実施内容：宿泊施設や緊急時対応（警察・病院等）に関する情報の追加

(2) タイ誘客促進事業 33, 765千円

① 「あきた観光大使」等活用誘客事業

昨年「あきた観光大使」に委嘱したタイの人気俳優が出演するテレビ番組等を活用して本県の認知度向上を図るとともに、旅行エージェント等と連携して、秋田泊旅行商品の造成を促進する。

- ・実施内容：秋田のオリジナルテレビ番組の放送
旅行エージェントの招へいによる秋田泊旅行商品の造成支援等

② “高質な田舎・秋田”集中宣伝事業

タイの国際旅行博「FITフェア」への出展や、旅行エージェント等を対象にした観光セミナーの開催などにより、本県の観光情報を発信する。

(3) 台湾誘客促進事業 73, 673千円

① 高雄市観光交流促進事業

高雄市との相互交流を図るため、「高雄市国際旅展」へのブース出展や教育関係者の招へい等を行う。

② 台湾チャーター拡大事業

台湾からのチャーター便の運航拡大に向けて、航空会社へのトップセールス等の誘致活動を強化するとともに、台湾の旅行会社に対する秋田泊旅行商品の造成支援等を行う。

③ FIT向け情報発信強化事業

台湾向け公式フェイスブック「秋田パパ走」や、仙台空港発着便の機内誌等を活用した情報発信など、個人旅行者に対する観光PRの強化を図る。

- (4) 韓国誘客促進事業 37,871千円
- ① 秋田ソウル国際定期便運航再開支援事業
韓国の航空会社や旅行会社へのトップセールスを行うとともに、秋田泊旅行商品を造成する旅行会社に対する支援を行う。
・実施内容：航空会社等へのトップセールスの実施
秋田泊旅行商品造成に対する広告支援等
- ② 韓国への秋田の魅力発信事業
WEBサイトや雑誌等の活用による情報発信の強化を図る。
- (5) 中国誘客促進事業 35,572千円
- ① 中国富裕層集中PR事業
主に上海の富裕層をターゲットに、「上海旅遊博」への出展やWEBサイトの活用等による集中的な情報発信を行う。
・実施場所：上海等
- ② 仙台定期便等活用促進事業
航空会社や旅行エージェントを対象に、観光セミナーや視察ツアーを実施するなど、秋田泊旅行商品の造成を支援する。
・実施場所：上海等
- (6) AKITA里山サイクリング推進事業 15,477千円
- ① 里山サイクリング磨き上げ事業
里山サイクリングに適したコースの実走検証を行うとともに、サイクリングと周辺観光を組み合わせた体験型ツアーを企画・実施する。
・実施内容：外国人によるサイクリングコースの試走等による検証
体験型観光とサイクリングを組み合わせたツアー企画の実施
- ② AKITA里山サイクリング発信事業
サイクリングイベントの実施やメディア等の招へいによる情報発信を行う。
・対象市場：台湾、香港
・実施内容：海外の自転車専門誌への情報掲載
WEBサイトを活用した情報発信等
- (7) 国際花火シンポジウム等活用インバウンド誘客事業 29,500千円
世界中の花火関係者が一堂に会する「第16回国際花火シンポジウム 大曲の花火～春の章～」の活用によるインバウンド誘客の促進を図る。
・実施内容：国際花火シンポジウム等の開催
・実施時期：平成29年4月
・実施場所：大仙市
- (8) セカンドデスティネーション戦略推進事業 27,378千円
- ① セカンドデスティネーション誘客事業
訪日外国人旅行者が多い東京、京都、北海道等での集中PRを実施する。
・実施内容：北海道の旅行エージェントとの連携による旅行商品の造成
主要ゲートウェイである空港や駅での広告掲出等

② 情報発信ツール活用事業

多言語観光パンフレットの作成・配布を行うとともに、訪日外国人旅行者向け雑誌等への観光情報の掲載を実施するほか、外航クルーズ船の利用者に対して観光情報等を提供する。

- ・実施内容：多言語（英・繁・簡・韓・タイ）パンフレットの配布
「Tokyo Weekender」「Tokyo Travel Guide」への掲載
外航クルーズ船の利用者に対応したガイドマップ等の作成等

[交通政策課]

(9) アキタノ航空定期路線活性化事業 12,000千円

秋田空港及び大館能代空港の定期路線の利用促進を図るため、インターネット上で航空券と宿泊を自由に組み合わせて購入できる、個人向けオーダーメイド型旅行商品の販売支援を行う。

- ・実施内容：航空会社等の海外向けWEBサイトの活用等

(10) 十和田・八幡平観光ブラッシュアップ事業 51,843千円

① 十和田・八幡平ステップアップ事業

訪日外国人旅行者のニーズを踏まえ、地域と連携しながら外国人に人気が高い参加・体験型プログラムの充実を図るほか、域内の二次アクセスの整備や宿泊客の増加に向けた方策について検討する。

② 十和田・八幡平イメージアップ事業

海外メディアやブロガー等の招へい等により、各種媒体やSNS等を活用した情報発信を強化し、当該地域の認知度向上を図る。

③ 文化芸能イベント活用誘客促進事業

外国人にも人気の高い歌舞伎と地域の伝統芸能等が一堂に会するイベントを開催するとともに、当該イベントと十和田八幡平観光を組み合わせた旅行商品の造成を支援する。

- ・実施時期：平成29年9月（予定）
- ・実施場所：岩手県内

(11) 北東北「食街道」周遊プロモーション事業 24,988千円

① “北東北食街道”拡充事業

世界的に有名なシェフの協力のもと、北東北3県の食材を使った究極のレシピを開発し、地元のシェフに伝授するほか、北東北の食をテーマにした情報発信の強化を図る。

② “北東北食街道”商品造成事業

台湾の旅行エージェントやメディア等を招へいし、北東北の食を巡る旅行商品の造成を支援する。

(12) レンタカーを活用したドライブ周遊観光促進事業 6,977千円

海外メディア等の招へいにより、東北のドライブ周遊観光の情報を発信するほか、旅行会社等へのセールスを強化する。

- ・対象市場：台湾、香港、韓国、シンガポール、タイ

(13) 航空キャリア連携旅行エージェント誘客促進事業 8, 525千円
 海外の航空キャリア関係者と提携旅行エージェントを招へいし、東北六県の
 空港視察や商談会等を開催する。
 ・対象市場：香港、韓国、シンガポール

(14) デジタルコンテンツプロモーション事業 17, 923千円
 東北の魅力を紹介する動画を制作して、インターネット（YouTube、
 百度等）により情報発信する。

※ (10) ～ (11) は北東北3県による共同事業

※ (12) ～ (14) は東北6県による共同事業

3 予算額 381, 762千円

内 訳	・報酬	6, 510千円
	・共済費	1, 008千円
	・報償費	541千円
	・旅費	22, 564千円
	・需用費	2, 172千円
	・役務費	1, 620千円
	・委託料	317, 397千円
	・使用料及び賃借料	450千円
	・負担金補助及び交付金	29, 500千円

平成29年度 秋田県インバウンド誘客戦略

インバウンドの取組における背景

- 国では、平成28年を「東北観光復興元年」と位置づけ、東北観光復興対策交付金等を活用して、2020年までに東北の外国人宿泊客を現在の3倍の150万人に押し上げることを目指している。
- 本県の訪日外国人宿泊者数は、対前年同期比(1-11月)で112.0%と、全国の106.6%を上回るものの、東北全体の120.1%に比べ低い結果となっている。
- 訪日外国人旅行者の旅行形態は個人・小グループへと移行しており、二次交通の充実やWi-Fi環境の整備、多言語による案内の強化など、地域の受入態勢の整備が重要である。
- 東北の玄関口である仙台空港は、台湾線にLCCが就航するなど、主要ゲートウェイとしての役割が増しており、その利活用による誘客を積極的に進める必要がある。

国の「東北観光復興対策交付金」を活用して、外国人旅行者にやさしい受入環境の整備や重点市場への集中プロモーション等を実施するほか、東北6県や北東北3県との連携事業を実施する。

「やさしさ日本一」受入環境整備 ～外国人の一人旅でも安心～

県の取組

- 観光施設等のインバウンド対応力の向上〔2月補正〕
- 外国人旅行者向け体験型コンテンツの整備とセールスシートの作成〔2月補正〕
- (1) 県内の訪日外国人受入態勢調査結果を踏まえ、県が実施主体となる受入環境整備
 - ・二次アクセス整備に対する専門家派遣や連絡会議の開催
 - ・外国人旅行者向け多言語対応アプリの掲載内容の充実

市町村連携の強化

- 【県・市連携】
- (7) 国際花火シンポジウムを活用した外国人誘客及び情報発信〔+2月補正〕
- 【市町村連携】
- 地域の個別課題に対応するため、市町村が連携して実施する受入環境整備
- ① 二次アクセスの検討・整備
 - ・FITの増加を見込んだ仙北～大仙～秋田～男鹿の県央部における横軸連携
 - ・湯沢雄勝地域の二次アクセス整備による利便性向上
- ② 地域DMOと連携した事業展開
 - ・DMO「秋田犬ツーリズム」の活動との連動、函館や仙台等のインバウンド先進地と連携した誘客促進
 - ・世界遺産白神山地の活用など、山本地域での地域連携DMOの設立を目指した取組
- ③ 地域特有のコンテンツの活用
 - ・環鳥海地域が連携してジオパークを前面に打ち出した誘客促進と受入環境整備
 - ・「みずほの里ロード」を活用したサイクリングによる誘客促進
 - ・県南の雪文化を活用したコンテンツづくりの検討

国内でのPR等による誘客 ～セカンドデスティネーション戦略～

- (8) 東京や京都、北海道等の外国人観光客が多い地域での誘客プロモーションの実施
- (9) 国内定期路線を運航する航空キャリアとタイアップした誘客促進

台湾・タイ等の重点市場を核とした観光誘客

台湾・香港 将来の定期便化等を目指した取組

- (3) 高雄市との交流促進や台湾チャーター便の運航支援、FITに向けた情報発信
- (6) 里山サイクリングを観光コンテンツとした誘客プロモーション
- (7) 国際花火シンポジウムを活用した外国人誘客及び情報発信(再掲)

タイ 高質な田舎・秋田のイメージを確立

- (2) 「あきた観光大使」の活用とFIT向けプロモーションの実施

韓国 定期便の早期再開

- (4) 秋田・ソウル国際定期便の運航再開に向けたセールス及びプロモーション等の実施

中国 富裕層をターゲットに拡充

- (5) 中国富裕層をターゲットにした観光セミナーの開催やSNS等での情報発信

豪州・欧米 訴求力のあるコンテンツを活用

- (6) 里山サイクリングを観光コンテンツとした誘客プロモーション(再掲)
- (7) 国際花火シンポジウムを活用した外国人誘客及び情報発信(再掲)
- (8) 東京や京都、北海道等の外国人観光客が多い地域での誘客プロモーションの実施(再掲)

広域連携による取組 ～広域の観光流動を促進～

【北東北三県連携】

- 東北観光復興対策交付金事業の検証による効率的・効果的な取組の推進〔2月補正〕
- (10) 十和田・八幡平の受入環境整備と情報発信、国立公園満喫プロジェクトとの連携
- (11) 「北東北食街道」の拡充及びそれをコンテンツとした旅行商品造成

【東北連携】

- (12) FITをターゲットにしたレンタカー情報の発信
- (13) 航空キャリアや旅行エージェントとの共同誘客プロモーションの実施
- (14) デジタルコンテンツを活用したプロモーションの実施

アンテナショップ運営事業について

秋田うまいもの販売課

1 目的

首都圏の方々に対し秋田を売り込むとともに、県内の市町村や農林・商工団体、県内事業者等が地域や県産品等に関する情報を受発信するための機会を提供するほか、バイヤー向け試飲・試食会や秋田の食のPRイベントを開催するなど、アンテナショップの情報受発信機能の充実や運営強化を図る。

2 概要

(1) 店舗及び店舗前広場等を活用した情報の受発信の機能強化	6,395千円
・市町村等と連携した食のPRイベント（年2回程度）	
・バイヤーを対象とした県産品商談会（年2回程度）	
・マスコミを対象とした観光・物産を一体的にPRするイベント（年1回）	
・店舗前広場における物産・観光PRイベント（年3回程度）	
・サイン掲出等	
(2) アンテナショップの運営強化	2,635千円
・アンテナショップ運営協議会への参加、衛生指導・衛生講習会の実施等	
(3) 契約更新に係る運営事業者選定に係る経費	202千円
※契約期間(H25.4.1~H30.3.31)	
(4) 店舗賃料	57,032千円
3 予算額	66,264千円

内 訳	・報償費	560千円
	・旅 費	3,013千円
	・需用費	786千円
	・役務費	2,466千円
	・委託料	2,387千円
	・使用料及び賃借料	57,052千円

県産品販路拡大対策事業について

秋田うまいもの販売課

1 目的

県内と首都圏で商談会を開催するとともに、他自治体やＪＲ東日本との連携により食品事業者等への販促機会を提供するほか、セミナー等の実施による販売力強化や消費者ニーズを反映させた商品開発を進め、県産品の販路拡大を図る。

2 概要

(1) 県産食材マッチング商談会開催事業 14,561千円

加工食品や農林水産物などを県内外のバイヤー等に広く紹介し販路拡大を図るため、「県産食材マッチング商談会」を秋田市と東京都で開催し、一次産品から加工品まで幅広く県産食材のマッチング機会を創出する。

① 県内商談会及び現地商談

- ・開催時期：平成29年7月
- ・会場：秋田テルサ
- ・出展者：約100社
- ・招へい企業：約30社

② 首都圏商談会

- ・開催時期：平成30年1月
- ・会場：首都圏イベント会場
- ・出展者：約60社
- ・来場予定者：約400名

(2) 秋田・鳥取 海の幸フェスティバル開催事業 5,131千円

鳥取県との共催により、両県のハタハタを含む水産物・加工品を中心に、納豆や味噌醤油、漬物等の発酵食品や地域特産品等を、まるごとPRするとともに、観光PRによる県内誘客を目的にイベントを開催する。

- ・会場：首都圏イベント会場
- ・開催時期：平成29年12月上旬

(3) 販売力・商品力レベルアップ事業 6,902千円

① 営業力向上アドバイザーによるスキルアップ

- ・県内食品事業者を対象に、商品力・営業力向上のスキルアップセミナーを開催

② 特産品開発コンクールによる商品開発・販路拡大

新たな秋田の顔となる特産品を2部門で表彰

- ・食品部門：金賞1点、銀賞3点、ほか奨励賞
- ・工芸品部門：金賞1点、銀賞1点、ほか奨励賞

③ ＪＲと連携した販売力強化対策

秋田駅ぽぽろードにてチャレンジマルシェ（各地域特産品のPR販売イベント）を開催し、販売上位商品を首都圏でのＪＲ東日本との連携イベント「秋田のもの」、「あきた産直市」に出品

(4) 「秋田犬の里」首都圏PR事業（地方創生推進交付金事業） 6,420千円

墨田区との連携により、海外で人気の高い「秋田犬」のふるさとをアピールし、イ

ンバウンドも見据えた秋田への誘客促進を図るため、食と観光に関するイベントを開催する。

- ・会場：「東京ソラマチ」（東京都墨田区）
- ・開催時期：平成29年9月

(5) 秋田のおいしい商品カタログ作成事業 1, 559千円
 県産品の販売促進や認知度向上を図るため、県外客等に秋田の特産品や販売店等を紹介するガイドブックを作成する。

3 予算額 34, 573千円

(1) 県産食材マッチング商談会開催事業 14, 561千円

内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費 20千円 ・旅 費 876千円 ・需用費 67千円 ・役務費 33千円 ・委託料 13, 518千円 ・使用料及び賃借料 47千円
-----	---

(2) 秋田・鳥取 海の幸フェスティバル開催事業 5, 131千円

内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費 100千円 ・旅 費 918千円 ・需用費 170千円 ・役務費 230千円 ・委託料 3, 713千円
-----	--

(3) 販売力・商品カレレベルアップ事業 6, 902千円

内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費 700千円 ・旅 費 2, 259千円 ・需用費 20千円 ・役務費 42千円 ・委託料 2, 882千円 ・使用料及び賃借料 399千円 ・負担金補助及び交付金 600千円
-----	---

(4) 「秋田犬の里」首都圏PR事業 6, 420千円

内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費 30千円 ・旅 費 531千円 ・需用費 171千円 ・役務費 170千円 ・委託料 5, 500千円 ・使用料及び賃借料 18千円
-----	--

(5) 秋田のおいしい商品カタログ作成事業 1, 559千円

内 訳	<ul style="list-style-type: none"> ・需用費 12千円 ・委託料 1, 547千円
-----	--

高品質販路開拓事業について

秋田うまいもの販売課

1 目的

首都圏の百貨店や民間事業者と連携し、高品質な商品の開発やPR等を行うとともに、多様な流通チャネルの活用により県産品の新たな販路開拓を図る。

2 概要

(1) 百貨店連携型プロモーション事業 4,506千円

三越伊勢丹と連携し、高品質でブランド価値の高い県産品開発に取り組むとともに、そのブランド力と情報発信力を最大限に活かした県産食材プロモーションを展開する。

- ・共同で開発する商品数 : 4商品
- ・取り扱い店舗 : 三越伊勢丹の基幹3店舗

(2) 民間事業者と連携した新たな販路開拓事業 6,993千円

首都圏において多くの飲食店舗を展開する(株)フードワークスと提携して、秋田の食をPRするとともに、ネットワークを活用したホテル等への売り込みや県産品の販路開拓を図る。

① 秋田メニューフェアの開催

(株)フードワークスが運営するレストランにおいて、県産食材を使用したメニューフェアを開催する。

② ネットワークを活用した販路開拓

- ・業務向けに商品改良のアドバイス
- ・展示商談会の開催

(3) 東京でのお土産開発支援事業 6,688千円

(株)生産者直売のれん会と連携し、県内事業者が製造し、東京で売れる新たなお土産品の開発支援を行う。

- ・商品の企画開発および販路開拓等のアドバイス
- ・食品事業者に対する東京でのお土産開発補助 (500千円×3件)

3 予算額 18,187千円

(1) 百貨店連携型プロモーション事業 4,506千円

内 訳	・旅 費	1,310千円
	・需用費	100千円
	・委託料	3,072千円
	・使用料及び賃借料	24千円

(2) 民間事業者と連携した新たな販路開拓事業 6,993千円

内 訳	・旅 費	734千円
	・需用費	240千円
	・役務費	60千円
	・委託料	5,959千円

(3) 東京でのお土産開発支援事業 6,688千円

内 訳	・旅 費	171千円
	・需用費	60千円
	・役務費	15千円
	・委託料	4,942千円
	・負担金補助及び交付金	1,500千円

大消費地販路開拓事業について

秋田うまいもの販売課

1 目的

東京や関西などの大消費地において、飲食店や流通業者などと連携し、県産品の認知度の向上と販路開拓を図る。

2 概要

(1) 飲食店等連携売り込み強化事業 3, 581千円

首都圏の本県ゆかりの飲食店と連携し、県産食材の利用促進を図るとともに、県産品のPRや観光情報の発信などを行い、首都圏での情報発信機能の充実を図る。

・連携する飲食店

アンテナ酒場（11事業者、17店舗）

※アンテナ酒場：首都圏等での県産食材を積極的に提供、使用する本県ゆかりの飲食店（席数おおむね30席以上）

・内容

物販コーナーの設置、秋田フェアの開催、ガイドブックの作成など

(2) 関西及び九州地域売り込み強化事業 7, 659千円

関西及び九州地域において、県産品の販路拡大を図るため、バイヤー招へいによる商品発掘や、スーパーでの秋田フェア、日本酒・県産品の試飲試食会を開催する。

〔関西地域〕

① (株)大近直営スーパーでの秋田フェアの開催

大阪に本社を置く大手スーパーの(株)大近と(株)秋田県物産振興会の取引ルートを活用して、県産品の販路拡大を図る。

・内 容：(株)大近直営スーパーでの秋田フェア（直営店30店舗）及びバイヤー招へいによる関西で販売する新商品の発掘

② '17食博覧会・大阪への出展

日本各地の「食」と「祭り」をテーマとした「'17食博覧会・大阪」に出展し、県産品の販路拡大を図る。

・会 期：平成29年4月28日～5月7日（10日間）

・会 場：インテックス大阪（大阪国際見本市会場/南港）

〔九州地域〕

福岡アンテナショップ内において、日本酒や県産品の試飲試食会を開催し、県産品の認知度向上と販路拡大を図る。

・内 容：アンテナショップでの試食試飲会（年2回程度、計14日間）

・会 期：平成29年9月～11月頃

3 予算額

11,240千円

(1) 飲食店等連携売り込み強化事業

3,581千円

内 訳	・旅 費	315千円
	・需用費	120千円
	・委託料	3,146千円

(2) 関西及び九州地域売り込み強化事業

7,659千円

内 訳	・報 酬	120千円
	・旅 費	1,208千円
	・需用費	322千円
	・役務費	268千円
	・委託料	5,726千円
	・使用料及び賃借料	15千円

クールアキタ食の輸出拡大支援事業について
(地方創生推進交付金)

秋田うまいもの販売課

1 目的

世界的な日本食への関心の高まりや、グローバル化の広がりを機会と捉え、民間事業者等と連携したプロモーションを海外で開催することにより、日本酒を中心とした県産品の輸出拡大を図る。

2 概要

- (1) クールアキタ推進事業 50,658千円
- ① クールアキタ in 台湾 12,445千円
台湾における展示会への出展や商談会の開催等により、県産酒や県産食品の販路拡大を図る。
- ・フード台北への出展（平成29年6月）
 - ・試飲試食商談会の開催（平成29年10月）
 - ・高雄食品見本市への出展（平成29年10月）
 - ・秋田メニューフェアの実施（平成29年秋冬）
- ② クールアキタ in アセアン 13,941千円
アセアン諸国における民間事業者の店舗を活用しながら、秋田メニューフェアや商談会の開催により、県産酒や県産食品の販路拡大を図る。
- 【シンガポール】
- ・現地日本食レストラン「シンガポール花蝶」を活用した商談会および秋田メニューフェアの開催（平成29年11月）
- ※商談会参加者に対する補助（補助率1/2、上限250千円）
- ・現地百貨店等における秋田フェアの開催（平成29年11月）
- 【ベトナム】
- ・現地日本食レストラン「ホーチミン花蝶」を活用した秋田メニューフェアの開催（平成29年11月）
- ③ クールアキタ in パリ 16,581千円
フランスにおける民間事業者のネットワークを活用し、日本酒、伝統的工芸品等の県産品をPRしながら「秋田」を広く情報発信し、ブランド力の向上と販路拡大を図る。
- ・パリ市内のイベント会場における試飲試食販売の実施（平成29年9月）
 - ・現地高級ホテル・レストランにおける県産酒のプロモーションの開催
- ※イベント参加者に対する補助（補助率1/2、上限250千円）
- ④ 関連事務費 7,691千円
- ・販促物製作、海外業務担当非常勤職員、職員旅費等

3 予算額

(1) クールアキタ推進事業

50,658千円

内 訳	・報酬	4,340千円
	・共済費	671千円
	・報償費	90千円
	・旅費	4,490千円
	・需用費	480千円
	・役務費	830千円
	・委託料	37,077千円
	・使用料及び賃借料	180千円
	・負担金補助及び交付金	2,500千円

総合食品研究センター施設・設備整備費について

秋田うまいもの販売課

1 目的

県内企業の魅力ある商品開発への技術的支援や研究活動の円滑な推進を図るため、総合食品研究センターの研究・分析機能を強化する。

2 概要

(1) 事業内容

総合食品研究センター中長期計画に基づき、電源立地地域対策交付金を活用し、研究機器の整備を行う。

(2) 購入機器 32,029千円

① ガスクロマトグラフ質量分析計 29,344千円

・ 日本酒や味噌などの香気成分を分析する機器

② 赤外線サーモグラフィ 1,040千円

・ 食品加工の工程において、各個所の温度分布を測定する機器

③ 3Dスキャナーと解析システム 1,645千円

・ 食品等の容積および表面積を高精度で計測する機器

3 予算額 32,029千円

(備品購入費)

(2) 空港利用者拡大促進事業 2, 106千円
航空会社及び市町村と連携し、航空会社のWEBサイト上で、魅力のある地域の観光コンテンツの紹介と合わせ、航空券と宿泊をセットにした旅行商品の販売を促進して利用者の拡大を図る。

(3) 秋田空港利用促進協議会負担金 1, 030千円
就航地でのPR活動等の利用促進事業を展開するため、秋田空港利用促進協議会へ負担金を拠出する。

(4) 大館能代空港利用促進協議会負担金 2, 600千円
送客促進策等を展開するため、大館能代空港利用促進協議会へ負担金を拠出する。

3 予算額 15, 588千円

(1) 広域交通ネットワーク誘客促進事業 9, 852千円
(負担金補助及び交付金)

(2) 空港利用者拡大促進事業 2, 106千円
(役務費)

(3) 秋田空港利用促進協議会負担金 1, 030千円
(負担金補助及び交付金)

(4) 大館能代空港利用促進協議会負担金 2, 600千円
(負担金補助及び交付金)

奥羽・羽越新幹線整備促進事業について

交通政策課

1 目的

奥羽、羽越両新幹線の整備促進を図るため、「秋田県奥羽・羽越新幹線整備促進期成同盟会」を推進母体として、県、市町村、経済界等が一体となり、要望や広報等の活動を進めていく。

2 概要

(1) 整備促進に向けた環境整備 1, 114千円

県、市町村、経済団体等が官民一体となって整備促進に取り組む機運の醸成を図るため、シンポジウムや研修会を開催する。

(2) 整備促進のための要望活動及び啓発広報活動の実施 671千円

基本計画から整備計画への格上げに必要な調査の早期実施について、国やJR等への要望活動のほか、リーフレットの配布等広報活動を実施する。

3 予算額 1, 785千円

(1) 整備促進に向けた環境整備 1, 114千円

内 訳	・ 報償費	200千円
	・ 旅費	267千円
	・ 需用費	335千円
	・ 役務費	12千円
	・ 使用料及び賃借料	300千円

(2) 整備促進のための要望活動及び啓発広報活動の実施 671千円

内 訳	・ 旅費	436千円
	・ 需用費	223千円
	・ 役務費	12千円

バス関連予算について

交通政策課

1 目的

地域住民の生活に必要不可欠なバス路線等の運行を確保するとともに、広域的な公共交通の再編に向けた取組を行うことにより、人口減少社会においても持続可能な地域公共交通網を形成する。

2 概要

(1) 地方バス路線維持事業 84,980千円

広域的・幹線的な生活交通バス路線を維持するため、国と協調してバス事業者に対し運行経費等を助成する。

- ・補助率 国1/2（会社への直接補助） 県1/2
- ・補助対象 運行経費：対象路線 20系統
車両減価償却費等：対象車両 バス車両1両

(2) 生活バス路線等維持事業 183,809千円

地域内の生活交通を維持するため、市町村に対して運行経費等を助成する。

① 生活バス路線等維持費補助金 50,235千円

市町村が助成している生活バス路線の運行経費に対して助成する。

- ・補助率 県1/2、3/8、1/8（平均乗車密度[※]により3段階）
 - ・補助対象 運行経費：対象路線 75系統
- ※ 起点から終点まで平均して乗客が何人いるかを算出した数値

② マイタウン・バス運行費等補助金 75,654千円

市町村が運営しているコミュニティバス等の運行経費に対して助成する。

- ・補助率 県1/2、1/4（平均乗車密度により2段階）
- ・補助対象 運行経費：対象路線 173系統

③ 地域内フィーダー系統確保維持費補助金 54,906千円

市町村が運営又は助成しているコミュニティバス等のうち、国の地域内フィーダー系統補助金の対象となったものについて、市町村毎に定められた国庫補助上限額が、算出した補助金額を下回った場合、その差額を助成する。

- ・補助率 定額（補助対象経費の1/2－国庫補助上限額＝県補助額）
- ・補助対象 8市（99系統）

④ 地域公共交通広域再編推進事業 3, 014千円

単独市町村による、生活交通の維持が困難な地域において、県と市町村が地域公共交通活性化協議会を立ち上げ、広域路線再編等を目的とした、地域公共交通網形成計画を策定する。

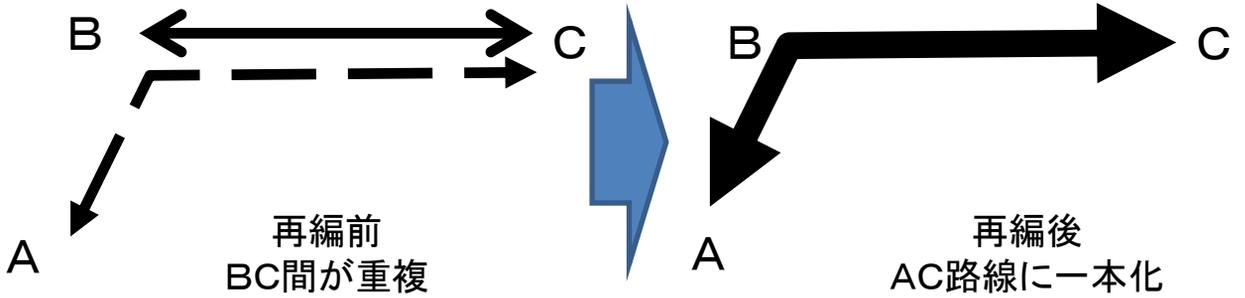
- ・実施地域 1地域（五城目町、八郎潟町、大潟村）
- ・実施主体 （仮称）大潟・湖東地域公共交通活性化協議会
- ・負担割合 国3／6※、県2／6、町村1／6※
※国及び町村負担分は協議会へ直接交付

3 予算額 268, 789千円

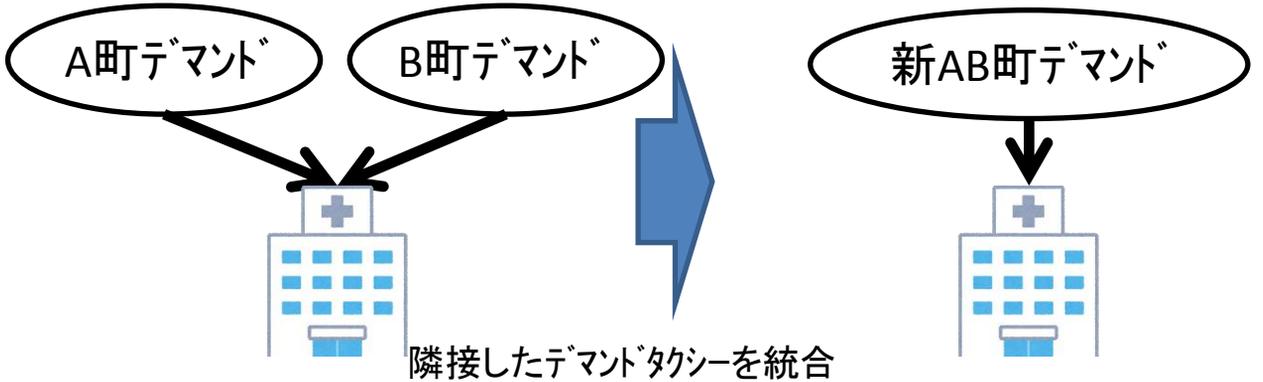
(1) 地方バス路線維持事業 84, 980千円
(負担金補助及び交付金)

(2) 生活バス路線等維持事業 183, 809千円
(負担金補助及び交付金)

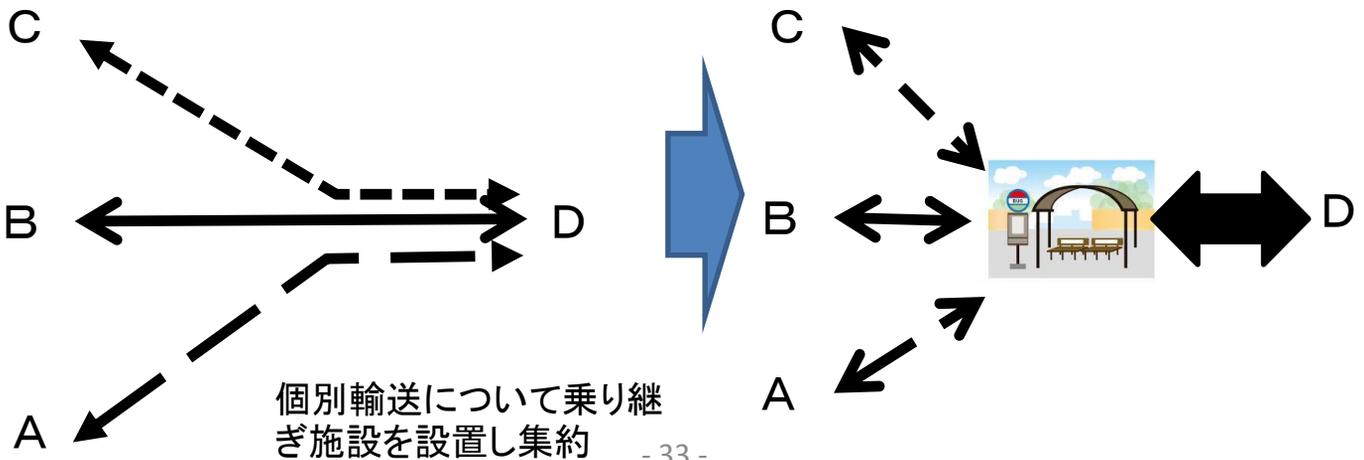
例1 路線重複の解消



例2 町村毎の公共交通の統合



例3 乗り継ぎ拠点の整備



秋田内陸縦貫鉄道関連予算について

交通政策課

1 目的

秋田内陸線の持続的運行のため、会社経営の安定化と安全運行の確保に加え、利用促進に向けた取組を引き続き進めていく。

2 概要

- (1) 鉄道軌道輸送対策事業 79,794千円
鉄道の安全対策に係る施設改修等に対し国と協調して助成する。
・整備内容 軌道整備、車両検査、橋梁補修等
・負担割合 国1/3(※)、県1/3、基金1/3
※会社への直接補助
- (2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 97千円
鉄道の維持確保及び経営基盤の安定化を図るため、基金運用益(受取利息)を基金に積み立てる。
- (3) 地方鉄道運営費補助事業 50,000千円
会社運営に必要な費用の一部を助成する。
・負担割合 県:0.5億円、2市:1.5億円
- (4) 第三セクター鉄道利用促進事業 4,217千円
① 三セク鉄道利用促進事業 2,817千円
県市協働組織「秋田内陸活性化本部」を事務局とする協議会へ負担金を支出し、イベントPRやマスコミを活用した利用促進事業などを展開する。
- ② 「秋田内陸線の旅」制作事業 1,400千円
内陸線沿線の観光・食・イベント情報等を掲載したパンフレットを、沿線市及び大館市、弘前市と連携して作成する。パンフレットはJR東日本と連携し、首都圏JR駅等に配置する。

3 予算額 134,108千円

- (1) 鉄道軌道輸送対策事業 79,794千円
(負担金補助及び交付金)
- (2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 97千円
(積立金)
- (3) 地方鉄道運営費補助事業 50,000千円
(負担金補助及び交付金)
- (4) 第三セクター鉄道利用促進事業 4,217千円

内 訳 (・旅 費 262千円)
(・負担金補助及び交付金 3,955千円)

由利高原鉄道関連予算について

交通政策課

1 目的

鳥海山ろく線の持続的運行のため、会社経営の安定化と安全運行の確保に加え、利用促進に向けた取組を引き続き進めていく。

2 概要

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 2,667千円

鉄道の安全対策に係る施設改修等に対し国と協調して助成する。

- ・整備内容 車両検査
- ・負担割合 国1/3(※)、県1/3、基金1/3
※会社への直接補助

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 29千円

鉄道の維持確保及び経営基盤の安定化を図るため、基金運用益(受取利息)を基金に積み立てる。

(3) 地方鉄道運営費補助事業 18,000千円

会社運営に必要な費用の一部を助成する。

- ・負担割合 市:会社に対し、平成28年度経常損失見込額を補助
県:市に対し、市の負担額の1/4以内かつ18,000千円を上限に補助

(4) 第三セクター鉄道利用促進事業

① 三セク鉄道利用促進事業 1,000千円

県、市、会社、商工会等で構成する「鳥海山ろく線運営促進連絡協議会」へ負担金を拠出し、首都圏等での誘客活動を強化する。

3 予算額 21,696千円

(1) 鉄道軌道輸送対策事業 2,667千円 (負担金補助及び交付金)

(2) 第三セクター鉄道運営助成基金積立金 29千円 (積立金)

(3) 地方鉄道運営費補助事業 18,000千円 (負担金補助及び交付金)

(4) 第三セクター鉄道利用促進事業 1,000千円 (負担金補助及び交付金)

秋田犬の里魅力アップ促進事業について
(地方創生推進交付金)

交通政策課

1 目 的

国内外で知名度の高い「秋田犬」を活用し、秋田犬の里である本県の魅力アップを図るため、県内の空港や第三セクター鉄道等のイメージアップや利便性の向上を図る。

2 概 要

(1) 秋田犬の里「秋田空港、大館能代空港いらっしやいませ」事業 17,600千円

「秋田犬の里」の空の玄関口である秋田空港と大館能代空港において、空港ターミナルビル施設内の市町村情報発信コーナー等を充実させるほか、大館能代空港を利用する旅行商品の造成支援等を行う。

- ・デジタルサイネージによる観光情報等発信（秋田空港）
- ・ビル出入口への秋田犬の写真・イラスト等の掲出（大館能代空港）
- ・秋田犬の親子像等の設置（大館能代空港）
- ・大館能代空港を利用して秋田犬の里である本県を周遊する旅行商品の造成支援
(大館能代空港)

(2) 秋田犬列車整備事業 22,919千円

秋田内陸線の車両を秋田犬をイメージした内装や外装（ラッピング等）に改装するとともに、Wi-Fi環境の整備等を行い、インバウンドを含む観光客の利便性の向上を図る。

- ・外装のラッピング
- ・座席シートの装飾
- ・Wi-Fi及び100V電源の設置 等

3 予算額 40,519千円

(1) 秋田犬の里「秋田空港、大館能代空港いらっしやいませ」事業 17,600千円

内 訳	・旅 費	800千円
	・役務費	50千円
	・負担金補助及び交付金	16,750千円

(2) 秋田犬列車整備事業 22,919千円

(負担金補助及び交付金)

文化による地域の元気創出事業について

文化振興課

1 目的

平成27年3月策定の「あきた文化振興ビジョン」に基づき、地域の文化資源を活用した文化事業を実施するほか、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムを見据え、特色ある文化事業を展開する文化団体の取組に対する支援などを通じ、文化の力で秋田の元気創造を図っていく。

2 概要

(1) あきたアートプロジェクト事業 3,272千円

秋田市中心市街地において、アートと音楽の力で地域の活性化を図る事業を実施する。

① あきたの美術2017 1,472千円

県内の若手作家から美術指導者など、様々なアーティストの優れた作品を集めた展覧会を開催し、県民に質の高い芸術鑑賞の機会を提供する。

- ・実施期間 平成29年10月26日(木)～11月5日(日)
- ・場 所 県立美術館県民ギャラリー

② 音楽によるにぎわいづくり 1,800千円

秋田駅周辺、エリアなかいち、大町等の秋田市中心市街地内に会場を設け、ジャズ、ポップス、ロック、吹奏楽、合唱、民謡など、プロ・アマ問わず様々なジャンルで開催される大規模屋外音楽イベント「Akita Music Festival 2017」を支援する。

- ・実施期間 平成29年9月上旬
- ・場 所 エリアなかいちほか
- ・実施主体 Akita Music Festival実行委員会
- ・事業費 5,000千円
- ・補助額 1,800千円

(2) 舞踊・舞踏フェスティバル開催事業 35,000千円

「石井漠・土方巽記念 国際ダンスフェスティバル2016」の成果をもとに、石井漠、土方巽の流れを汲む舞踊・舞踏家を招へいし、公演を開催するほか、県内各地での出前公演等を実施し、「ダンスの聖地秋田」を国内外に広く発信する。

- ・実施期間 平成29年7月～11月
- ・場 所 秋田県児童会館ほか
- ・実施主体 石井漠・土方巽記念 国際ダンスフェスティバル実行委員会
- ・事業費 42,680千円
- ・負担内訳 県5,000千円、国25,000千円、秋田市2,500千円、(一財)地域創造5,000千円、その他5,180千円

(3) 秋田の文化を築いた先人に光をあてる事業

5,000千円

日本の大衆音楽の歴史に大きな足跡を残した東海林太郎の人生に光りをあてたミュージカル「東海林太郎（仮称）」を上演し、県内の子どもたちをはじめとした多くの県民に質の高い舞台芸術に触れる機会を提供することで、郷土への誇りや愛着、本県文化への理解を深める。

- ・実施期間 平成29年11月～平成30年2月
- ・場 所 にぎわい交流館3階多目的ホール
- ・実施主体 ミュージカル「東海林太郎」公演実行委員会（仮称）
- ・事業費 95,291千円
- ・負担内訳 県5,000千円、国47,130千円、
秋田市5,000千円、その他38,161千円

(4) 文化による地域の元気創出事業補助金

25,120千円

国民文化祭の成果を継承し、さらに文化団体の活動の活発化を図るため、文化団体等が実施する地域の文化資源を活用した交流人口の拡大に資する取組や、芸術性に富んだ特色ある取組を支援する。

なお、平成29年度は新たに2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた文化プログラム枠を設け、大規模な事業を支援する。

【参 考】

●通常枠

①補助対象事業

- ・東北規模、全国規模の文化事業
- ・交流人口の拡大に資する文化事業
- ・伝統と現代の融合など、異なるジャンル間の連携事業
- ・芸術性に富んだ特色ある文化事業 等

②補助対象事業者

文化団体等

③補助額

補助率：2/3（一団体あたり補助額 概ね100～300万円）

●文化プログラム枠

①補助対象事業

- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の前後に日本文化を紹介する文化プログラムの一環として、地域の文化芸術資源を活用し、多様な文化芸術の発展や持続的な地域経済の発展を目指す事業
- ・特に本県固有の「秋田ならではの文化資源（現代アートを含む）」を活用しながら、国内外から多数の集客を目指す事業

②補助対象事業者

文化団体等（2団体程度）

③補助額

補助率：2/3（上限額500万円）

(5) 県・市連携による地域文化発信事業 53,005千円

市町村との協働により、地域の文化資源を活用した交流人口の拡大を図っていくことで、地域の活性化につなげる取組を推進する。

① 「新・秋田の行事」開催事業 48,269千円

本県を代表する伝統芸能が一堂に会し、披露することにより、伝統芸能や伝統行事を次世代に伝えていくとともに、地域の活力創造を図っていく。

- ・実施期間 平成29年10月14日(土)～15日(日)
- ・場 所 大仙市
- ・実施主体 新・秋田の行事实行委員会
- ・事業費 60,000千円
- ・負担内訳 県15,000千円、国30,000千円、大仙市10,000千円、協賛金等5,000千円

② にかほ市プロジェクト支援事業 4,736千円

にかほ市出身の木版画家池田修三の展覧会を仙台市で開催し、「秋田のたから」を情報発信するとともに、地元象潟において小中学生への木版画の学習会の開催や市内50箇所程度を会場とする「象潟まちびと美術館」を開催する。

- ・実施期間 平成29年8月～11月
- ・場 所 仙台市、にかほ市
- ・実施主体 まちびとプロジェクト実行委員会
- ・事業費 20,000千円
- ・負担内訳 県4,500千円、国10,000千円、にかほ市5,500千円

3 予算額 121,397千円

(1) あきたアートプロジェクト事業 3,272千円

内 訳	・報償費	640千円
	・旅費	19千円
	・需用費	218千円
	・役務費	80千円
	・委託料	350千円
	・使用料及び賃借料	165千円
	・負担金補助及び交付金	1,800千円

(2) 舞踊・舞踏フェスティバル開催事業 35,000千円
(負担金補助及び交付金)

(3) 秋田の文化を築いた先人に光をあてる事業 5,000千円
(負担金補助及び交付金)

(4) 文化による地域の元気創出事業補助金 25,120千円

内 訳	・ 報償費	30千円
	・ 旅費	55千円
	・ 需用費	35千円
	・ 負担金補助及び交付金	25,000千円

(5) 県・市連携による地域文化発信事業 53,005千円

内 訳	・ 共済費	263千円
	・ 賃金	1,679千円
	・ 旅費	514千円
	・ 需用費	677千円
	・ 役務費	240千円
	・ 使用料及び賃借料	132千円
	・ 負担金補助及び交付金	49,500千円

県・市連携文化施設整備事業について

文化振興課

1 目的

県・市連携文化施設の整備に向け、基本設計を行う。

2 概要

(1) 基本設計 【総額 135,519千円（うち県77,924千円、市57,595千円）】

県・市連携文化施設の基本設計を行う。（債務負担行為設定済）

(2) 設計者選定委員会の開催【総額 1,003千円（うち県 577千円、市 426千円）】

基本設計業務受託者を選定するための委員会を開催する。

(3) 整備事務費 【総額 4,599千円（うち県 2,645千円、市 1,954千円）】

県・市連携文化施設を整備するための事務的経費等。

3 予算額

141,121千円

(1) 基本設計

135,519千円

（委託料）

(2) 設計者選定委員会の開催

1,003千円

内 訳	{	・ 報償費	500千円
		・ 旅 費	430千円
		・ 需用費	10千円
		・ 使用料	63千円

(3) 整備事務費

4,599千円

内 訳	{	・ 旅 費	1,641千円
		・ 需用費	2,155千円
		・ 役務費	540千円
		・ 使用料	263千円

4 県・秋田市の費用負担

（単位：千円）

業 務 名	総 額	うち県分	うち秋田市分
(1) 基本設計	135,519	77,924	57,595
(2) 設計者選定委員会の開催	1,003	577	426
(3) 整備事務費	4,599	2,645	1,954
合 計	141,121	81,146	59,975

※ 秋田市からの負担金と合わせ、県が一括して発注、執行する。

1 主な参加資格要件

- ① 2者又は3者の設計共同企業体であること。
- ② 一級建築士事務所の登録を受けている者であること。
- ③ 配置予定技術者の要件は、以下のとおりとする。
 - ア 設計共同企業体の代表企業から選任される管理技術者は、一級建築士であること。
 - イ 管理技術者は、過去20年間において「劇場」を備えた延べ面積が10,000㎡以上を有する施設に係る設計業務の実績があること。
 - ウ 共同企業体の代表企業以外の構成員から選任される総合業務分野の担当技術者は、過去20年間において延べ面積が5,000㎡以上の「公共建築物」に係る設計業務の実績があること。

2 技術提案書の特定テーマ

- ① 『景観との調和』
周辺の景観との調和や周辺地域への影響を最小限に抑えるための工夫（外観イメージを含む）
- ② 『敷地利用と動線』
現状の敷地条件下で、効果的な敷地利用計画と動線計画の工夫（配置イメージを含む）
※ 保存樹のない土塁は撤去可能とし、一体的な敷地利用に配慮すること。
- ③ 『利用者等への配慮』
利用者や来場者が利用しやすい施設とするための工夫（各階平面イメージを含む）
- ④ 『芸術文化と賑わい』
本県の芸術文化の発信に寄与し、賑わいをもたらすための施設計画の工夫
- ⑤ 『コストと工期』
建設事業費を含めたライフサイクルコストの抑制、建設工期の短縮化

3 設計者選定委員

役職名	氏名	所属等	区分
委員長	勝又 英明	東京都市大学工学部教授	有識者
副委員長	長谷川 兼一	秋田県立大学システム科学技術学部教授	〃
委員	伊東 正示	(株)シアターワークショップ代表取締役	〃
委員	椎 俊輔	(株)キョードー東北代表取締役	利用者
委員	青木 隆吉	(一社)秋田県芸術文化協会会長	〃
委員	草薨 作博	秋田県観光文化スポーツ部長	県
委員	柿崎 武彦	秋田市企画財政部長	市

4 敷地条件



5 業務スケジュール（概要）

平成29年

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| 1月13日 | 第1回設計者選定委員会（技術提案に係る評価基準等の審議） |
| 1月31日 | 設計者募集公告 |
| 2月20日 | 参加資格確認申請書提出期限 |
| 4月9日（予定） | 第2回設計者選定委員会（技術提案の書類審査） |
| 4月22日（予定） | 第3回設計者選定委員会（公開プレゼンテーション及び最終審査） |
| 5月中旬（予定） | 契約締結 |
| 5～8月 | 利用者団体等との意見交換（毎月1回程度） |
| 9月議会 | 基本設計案の報告 |
| 12月議会 | 実施設計予算等の提案 |

平成30年

- | | |
|------|------|
| 1月下旬 | 業務完了 |
|------|------|

スポーツ王国創成事業について

スポーツ振興課

1 目的

「スポーツ立県あきた」を推進するため、各競技団体の選手強化対策を支援するとともに、ジュニア期からの一貫指導体制の確立を推進するほか、トップアスリートの県内就職を促進することにより、本県スポーツの競技力向上を図る。

2 概要

- (1) スポーツ王国づくり強化事業 221,067千円
- ① 選手強化対策等への支援 110,000千円
競技団体が実施する選手強化対策に対して助成する。
・補助対象：県内41競技団体（うち重点強化17競技団体）
- ② スポーツ医科学サポート 20,420千円
選手に対する医科学サポートを県スポーツ科学センターにおいて実施する。
- ③ 競技力向上対策の実施 90,647千円
選手の育成・強化のための諸施策や競技団体への指導など、県体育協会と連携した競技力向上対策等を実施する。
・委託及び助成先（予定）：（公財）秋田県体育協会
- (2) アスリート輩出のためのタレント発掘事業 7,330千円
オリンピック等で活躍できるトップアスリートを輩出するため、中央競技団体と連携しながら、ジュニア期から優れた素質を有する選手の発掘を行うとともに、一貫指導による育成・強化を実施する。
・対象競技：フェンシング、スピードスケート、ライフル射撃
- (3) ジュニアアスリート強化事業 63,715千円
- ① ジュニア期からの一貫指導体制の構築 27,715千円
県体育協会へのジュニア育成アドバイザーの配置（2名）や、各競技団体が実施するジュニア強化事業に対する助成（34競技団体）のほか、中学生強化選手に対する高等学校強化拠点校と連携した強化練習や研修の実施により、ジュニアアスリートの資質や競技力の向上を図る。
- ② 高等学校強化拠点校への支援 36,000千円
高等学校強化拠点校が実施する強化練習・合宿や、競技団体と連携した合同練習などに対して助成する。
・高等学校強化拠点校：15競技延べ20校

- (4) アスリートの競技活動サポート事業（地方創生推進交付金） 11,188千円
 県内に就職し競技を続けたいとするアスリートと、企業等とのマッチングサポートを実施するとともに、トップアスリートを雇用した企業等に対して、奨励金を支給するほか、競技活動に要する経費の一部を助成する。
- ① アスリートと企業等のマッチングサポート 6,788千円
 ・事業内容：無料職業紹介事業所（窓口）の開設
 アスリート就職推進アドバイザーの配置（1名）
 アスリート就職説明会の開催など
 ・委託先（予定）：（公財）秋田県体育協会
- ② 秋田県トップアスリート正規雇用奨励金 2,000千円
 ・支給額：200万円／人
- ③ 秋田県トップアスリート競技活動サポート補助金 2,400千円
 ・補助対象経費：企業等が負担するトップアスリートの競技活動経費
 ・補助率：1／2（国内競技活動）、2／3（国外競技活動）
 ・補助上限額：240万円／年（補助対象経費上限額360万円／年）
 ・補助期間：新規雇用から5年間

3 予算額 303,300千円

(1) スポーツ王国づくり強化事業 221,067千円

内 訳	・報酬	5,672千円
	・共済費	913千円
	・報償費	3,630千円
	・旅費	4,284千円
	・需用費等	5,921千円
	・委託料	86,347千円
	・負担金補助及び交付金	114,300千円

(2) アスリート輩出のためのタレント発掘事業 7,330千円

内 訳	・報償費	624千円
	・旅費	5,538千円
	・需用費等	668千円
	・委託料	500千円

(3) ジュニアアスリート強化事業 63,715千円

内 訳	・委託料	10,235千円
	・負担金補助及び交付金	53,480千円

(4) アスリートの競技活動サポート事業 11,188千円

内 訳	・報償費	2,000千円
	・委託料	6,788千円
	・負担金補助及び交付金	2,400千円

県有体育施設整備・改修事業について

スポーツ振興課

1 目的

県有体育施設について、利用者の安全・安心を確保するとともに、各種競技大会の開催に支障がないよう施設・設備の整備・改修を実施する。

2 概要

- | | |
|---|----------|
| (1) 県有体育施設整備・改修事業 | 36,247千円 |
| ① 総合プール・武道館高圧気中開閉器交換 | 2,475千円 |
| 施設内における電気事故が周辺へ波及することを防ぐ高圧気中開閉器が耐用年数を経過し、非常時に不作動の恐れがあることから交換する。 | |
| ② 総合プール・武道館蓄電池交換 | 11,040千円 |
| 非常用照明の電源である蓄電池が耐用年数を経過し、非常時に不作動の恐れがあることから交換する。 | |
| ③ 野球場・総合射撃場高圧真空遮断器交換 | 2,033千円 |
| 電流の異常を察知し施設内の電気設備の故障を防ぐ高圧真空遮断器が耐用年数を経過し、非常時に不作動の恐れがあることから交換する。 | |
| ④ 新屋運動広場高圧受電設備修繕 | 3,084千円 |
| ブレーカー等の部品及び格納小屋が経年により腐食し、設備全体に故障・不作動の恐れがあることから修繕する。 | |
| ⑤ 樹海ドーム高圧受電設備修繕 | 2,183千円 |
| 耐用年数を経過したコンデンサ等の部品の交換及び経年劣化した部分の修繕を行う。 | |
| ⑥ 体育館避雷導線支持金具修繕 | 2,262千円 |
| 支持金具の腐食により避雷導線にたわみが生じており、落雷時に建物に接触し火災の恐れがあることから修繕を行う。 | |
| ⑦ 向浜運動広場駐車場補修工事 | 11,373千円 |
| 経年劣化により舗装が剥がれ、利用に支障が生じているため、再舗装工事を行う。 | |
| ⑧ 県有体育施設備品更新 | 1,797千円 |
| 耐用年数を経過した備品を更新する。(スポーツ科学センターエアロバイク2台、体育館卓球台5台) | |

- (2) 県有体育施設基幹設備改修事業 12,376千円
- ① 総合プール軒天井補強工事 12,376千円
- メインプールの軒天井について、アルミパネルを止めているビスの劣化によりパネル落下の危険が生じていることから、落下防止のため補強工事を行う。
(平成28年度東側半分施工済み、平成29年度西側半分を施工して完了)
- (3) 県立野球場大規模改修事業 1,152,955千円
- ① 観客席膜屋根鉄骨塗装改修工事 430,684千円
- 内野観客席膜屋根の鉄骨塗装(耐火性フッ素塗装)が複数箇所で剥がれ落ち、鉄骨に錆が生じていることから、塗装の落下防止及び鉄骨の腐食防止のため、塗装工事を行う。(平成28年度設計済み)
- ② グラウンド改修工事 106,412千円
- 土、天然芝、人工芝に排水不全や凹凸、へたりが生じていることから、全面的な改修工事を行う。(平成28年度設計済み)
- ・内野土更新
 - ・外野天然芝更新
 - ・内野フェールゾーン人工芝更新
- ③ ナイター照明塔改修工事 615,859千円
- 照明塔架台及び照明器具について、経年により腐食し落下の恐れがあることから、LED化を含めた改修工事を行う。(平成28年度設計済み)

3 予算額 1,201,578千円

- (1) 県有体育施設整備・改修事業 36,247千円
- 内 訳
- | | |
|--------|----------|
| ・需用費 | 20,815千円 |
| ・委託料 | 159千円 |
| ・工事請負費 | 13,476千円 |
| ・備品購入費 | 1,797千円 |
- (2) 県有体育施設基幹設備改修事業 12,376千円
- 内 訳
- | | |
|--------|----------|
| ・委託料 | 634千円 |
| ・工事請負費 | 11,742千円 |
- (3) 県立野球場大規模改修事業 1,152,955千円
- 内 訳
- | | |
|--------|-------------|
| ・委託料 | 24,507千円 |
| ・工事請負費 | 1,128,448千円 |

2020プロジェクト推進事業について

スポーツ振興課

1 目的

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会や2019年ラグビーワールドカップ等に参加する国内外選手団の本県への事前合宿誘致に向け、内閣官房オリパラ事務局等の関係機関やホストタウン登録している県内市町村と連携し、誘致プロモーション等を実施する。

2 概要

(1) 2020プロジェクトチーム活動費 18,994千円

オリパラ事務局、組織委員会等の関係機関からの情報収集や、ホストタウン登録している県内市町村との連携を充実させるとともに、インドネシア、タイのバドミントンやフィジーのラグビーなど事前合宿誘致に向けたプロモーションを展開する。

(2) オリンピック・ムーブメント啓発事業 13,386千円

日本オリンピック委員会と連携して、オリンピックによる県内中学生対象のオリンピック教室を開催し、オリンピック・ムーブメントを推進するとともに、事前合宿誘致ターゲット競技を主とした国内トップスポーツ大会の開催を支援することにより、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への機運醸成を図る。

3 予算額 32,380千円

(1) 2020プロジェクトチーム活動費 18,994千円

内 訳	・報償費	400千円
	・旅 費	9,464千円
	・需用費	340千円
	・役務費	90千円
	・委託料	8,600千円
	・負担金補助及び交付金	100千円

(2) オリンピック・ムーブメント啓発事業 13,386千円

内 訳	・報償費	280千円
	・旅 費	106千円
	・負担金補助及び交付金	13,000千円

(参 考) 平成28年度の主な取組実績

- ・インドネシアバドミントントップ選手の合宿受入
- ・フィジー青年スポーツ省とスポーツ交流に係る基本協定の締結
- ・県と横手市、秋田市、大館市、仙北市のホストタウン登録
- ・女子ラグビーセブンズ競技全国大会の開催支援
- ・オリンピック教室の開催(中学校4校…皆瀬、天王、合川、男鹿北)

第44回東北総合体育大会開催事業について

スポーツ振興課

1 目的

本県において、平成29年度国民体育大会の東北ブロック大会を兼ねた「第44回東北総合体育大会」を開催する。

2 概要

39,901千円

東北各県から選手・監督約6千人が参加する本大会を、(公財)秋田県体育協会や開催市町村等との連携により、大会運営のための実行委員会を設置し、開催する。

- ・大会名称 平成29年度国民体育大会東北ブロック大会(兼)第44回東北総合体育大会
- ・主会期 平成29年8月18日(金)～20日(日)
- ・開催地 県内：12市3町1村[47競技会場]
県外：3市[3競技会場]
- ・実施主体 (公財)日本体育協会、秋田県、(公財)秋田県体育協会、開催市町村、東北地区競技団体、その他関係団体
- ・開催競技 国民体育大会で実施される正式競技の37競技
- ・参加者数 約6千人(選手・監督)
- ・競技日程等 別紙「競技日程と競技会場一覧(案)」のとおり

3 予算額

39,901千円

(1) 大会開催費

4,957千円

内 訳	・旅費	557千円
	・需用費	1,854千円
	・役務費	264千円
	・委託料	1,440千円
	・使用料及び賃借料	242千円
	・負担金補助及び交付金	600千円

(2) 競技運営費(開催市町村等への負担金)

34,944千円

(負担金補助及び交付金)

競技日程と競技会場一覧(案)

主会期：平成29年8月18日(金)～20日(日)

競技名		開催市町村	競技日程				競技会場	
			8月					
			17日 (木)	18日 (金)	19日 (土)	20日 (日)		
1	水泳	水球	秋田市			8/5◎	8/6○	秋田県立総合プール
		シンクロナイズドスイミング	福島県郡山市			7/22◎	7/23○	郡山カルチャーパークプール
2	ボート		大潟村		7/14△	7/15○	7/16○	大潟漕艇場
3	カヌー	スラローム・ワイルドウォーター	仙北市			6/17△	6/18○	生保内カヌー競技場
		スプリント	岩手県盛岡市		7/14△	7/15○		岩手県立御所湖広域公園漕艇場
4	ボウリング		秋田市		7/7△	7/8○	7/9○	ラウンドワンスタジアム秋田店
5	ゴルフ		横手市	7/13△	7/14○			羽後カントリー倶楽部
6	陸上競技		秋田市			◎	○	秋田県立中央公園県営陸上競技場
7	サッカー	成年・少年男子	にかほ市	8/10△	8/11○	8/12○	8/13○	TDK秋田総合スポーツセンター
		女子						にかほ市仁賀保グリーンフィールド
8	テニス		秋田市			8/5◎	8/6○	秋田県立中央公園県営庭球場
9	ホッケー		羽後町	8/10△	8/11○	8/12○	8/13○	羽後町多目的運動広場、秋田県立羽後高等学校ホッケー場
10	ボクシング		秋田市		◎	○	○	秋田県スポーツ科学センター
11	バレーボール	6人制	横手市		△	○	○	横手市横手体育館、横手市増田体育館
		ビーチバレーボール	男鹿市			8/12◎		男鹿市宮沢海岸特設会場
12	体操	体操競技	秋田市		△	○	○	秋田県立体育館
		新体操				◎	○	CNAアリーナ★あきた(秋田市立体育館)
13	バスケットボール		大館市		△	○	○	大館市樹海体育館
14	レスリング		秋田市			8/26◎	8/27○	CNAアリーナ★あきたサブアリーナ(秋田市立体育館)
15	ウェイトリフティング		三種町			◎	○	三種町琴丘総合体育館
16	ハンドボール		湯沢市	△	○	○	○	湯沢市総合体育館、秋田県立湯沢高等学校体育館、湯沢市立湯沢北中学校体育館
17	自転車	トラック	美郷町			◎	○	美郷町自転車競技場
		ロード					○	美郷町特設コース
18	ソフトテニス		大館市			◎	○	大館市高館テニスコート

競 技 名	開 催 市町村	競 技 日 程				競 技 会 場		
		8 月						
		17日	18日	19日	20日			
		(木)	(金)	(土)	(日)			
19	卓球	鹿角市		◎	○	○	鹿角トレーニングセンターアルパス	
20	軟式野球	大館市			◎	○	大館市田代野球場、大館市達子森野球場	
21	相撲	美郷町			9/2◎	9/3○	美郷町南運動公園相撲場	
22	馬術	仙北市		◎	○	○	仙北市馬術競技場	
23	フェンシング	北秋田市		△	○	○	北秋田市合川体育館	
24	柔道	能代市			◎	○	能代市総合体育館	
25	ソフトボール	由利本荘市	△	○	○	○	由利本荘市ソフトボール場、由利本荘市 矢島多目的運動広場	
26	バドミントン	美郷町	△	○			美郷町美郷総合体育館（リリオス）	
27	弓道	秋田市			7/22◎	7/23○	秋田県立武道館弓道場	
28	ライフル射撃	由利本荘市		△	○	○	秋田県立総合射撃場	
29	剣道	秋田市			◎		秋田県立武道館	
30	ラグビーフットボール	成年	秋田市	△		○	○	あきぎんスタジアム（八橋運動公園球技場）
		少年				○	○	あきぎんスタジアム（八橋運動公園球技場）
		女子				○	○	スペースプロジェクト・ドリームフィールド（八橋運動公園第2球技場）
31	山岳(リード・ボルダリング)	秋田市		7/21△	7/22○	7/23○	秋田県スポーツ科学センター	
32	アーチェリー	秋田市			◎	○	秋田県立新屋運動広場	
33	空手道	秋田市			◎	○	秋田市北部市民サービスセンター体育館	
34	銃剣道	由利本荘市				◎	由利本荘市総合体育館（ポポロ健康運動公園内）	
35	クレー射撃	岩手県 花巻市			△	○	花巻市クレー射撃場	
36	なぎなた	大仙市			◎	○	大仙市大曲体育館	
37	アイスホッケー	成年	秋田市			12/9◎	12/10○	秋田県立スケート場
		少年				12/2◎	12/3○	

県内：1 2市3町1村 [4 7 競技会場]

県外：3市 [3 競技会場]

△：競技別開会式	◎：競技別開会式後競技	○：競技
競技日程欄に記載の月日は、主会期外の競技日を示す		

秋田県総合食品研究センター条例の一部を改正する条例案について

秋田うまいもの販売課

1 改正理由

秋田県総合食品研究センターの利用促進を図るため、大規模修繕工事において施設内のレイアウトを変更し、開放研究室の移設や研修室の増設を行ったことにより、これらを使用する者から使用料を徴収する必要がある。

2 改正内容

秋田県総合食品研究センターの開放研究室及び研修室の手数料の額を次のとおり定めることとする。

(1) 開放研究室

区分	改正前	改正後		
	開放研究室 (30㎡)	開放研究室A (38㎡)	開放研究室B (36㎡)	開放研究室C (26㎡)
使用料の額 (1室1月につき)	79,200円	40,800円	38,700円	27,900円

(2) 研修室

区分		改正前	改正後	
		研修室 (212㎡)	研修室A (212㎡)	研修室B (86㎡)
使用料の額	午前9時から 正午まで	5,850円	5,850円	1,350円
	午後1時から 午後5時まで	7,800円	7,800円	1,800円
	午前9時から 午後5時まで	13,650円	13,650円	3,150円
	午後5時後の 時間1時間につき	1,950円	1,950円	450円

3 施行期日

この条例は、平成29年4月1日から施行することとする。

秋田県総合食品研究センター条例の一部を改正する条例案新旧対照表

新

別表（第四条関係）

一 施設使用料

(一) 開放研究室

区分	使用の単位	使用料の額
開放研究室A	一室一月につき	四〇、八〇〇円
開放研究室B		三八、七〇〇円
開放研究室C		二七、九〇〇円

備考

一 開放研究室の区分は、次のとおりとする。

(一) 開放研究室A 床面積が三十八平方メートルのものをいう。

(二) 開放研究室B 床面積が三十六平方メートルのものをいう。

(三) 開放研究室C 床面積が二十六平方メートルのものをいう。

二 月の中途から使用を開始する場合又は月の中途で使用を終了する場合の当該月の使用料の額は、この表に定める額を三十で除し、これに当該月の使用日数を乗じて得た額とする。

(二) 研修室

区分	使用料の額		
	午前九時から正午まで	午後一時から午後五時	午前九時から午後五時
研修室A	五、八五〇円	七、八〇〇円	一三、六五〇円
			午後五時後の時間につき
			一、九五〇円

旧

別表（第四条関係）

一 施設使用料

(一) 開放研究室

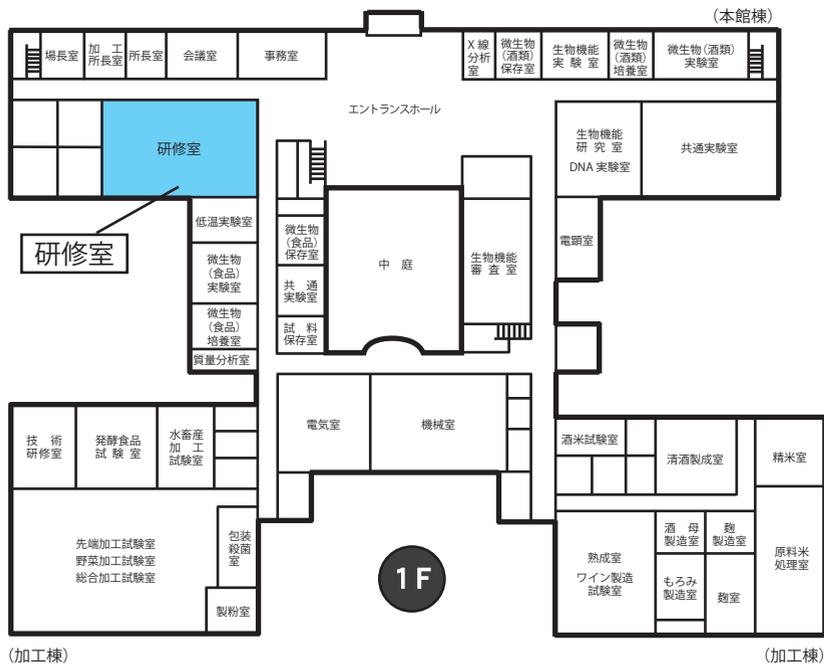
使用の単位	使用料の額
一室一月につき	七九、二〇〇円

備考 月の中途から使用を開始する場合又は月の中途で使用を終了する場合の当該月の使用料の額は、二千六百四十円に当該月の使用日数を乗じて得た額とする。

(二) 研修室

区分	使用料の額		
	午前九時から正午まで	午後一時から午後五時	午前九時から午後五時
研修室	五、八五〇円	七、八〇〇円	一三、六五〇円
			午後五時後の時間につき
			一、九五〇円

< 改修前 >



< 改修後 >

